

数学オリンピック 財団通信

No.63
2022年5月15日
(公財)
数学オリンピック財団

▶▶ 第32回日本数学オリンピック(JMO)開催

第32回日本数学オリンピック (Japan Mathematical Olympiad : JMO) の参加募集は、2021年9月1日より10月31日までの間で行われ、応募総数は4,689名であった。予選は、オンラインでの実施となり1月10日 (成人の日) に4,379名が参加して行われ、その結果、248名が本選受験有資格者となった。そして、このうち243名が2月11日 (建国記念の日) の全国9ヶ所の試験会場でJMO本選に臨み、下記の24名が成績優秀者に選ばれ、このうち6名が、2022年の国際数学オリンピック (IMO) ノルウェー大会の日本代表選手候補選抜のための「代表選考合宿」に招待された。

第32回日本数学オリンピック(JMO)受賞者

賞	氏名	所属校	学年	賞	氏名	所属校	学年
川井杯・金賞	沖 祐也	灘高等学校	高2	優秀賞	井本 匡	麻布高等学校	高2
銀賞	新井 秀斗	海城高等学校	高2	優秀賞	狩野 慧志	松本市立筑摩野中学校	中2
銀賞	三宮 拓実	福岡県立福岡高等学校	高2	優秀賞	片伯部 了	東大寺学園高等学校	高1
銅賞	北山 勇次	札幌市立札幌開成中等教育学校	5年	優秀賞	石田 瑛誉	東京都立小石川中等教育学校	4年
銅賞	天谷 健人	筑波大学附属駒場高等学校	高2	優秀賞	古橋 史崇	開成高等学校	高1
銅賞	小出 慶	灘高等学校	高1	優秀賞	斉藤 由延	灘高等学校	高2
優秀賞	鴫田 結	宮城県仙台第二高等学校	高2	優秀賞	芝本 将豊	灘高等学校	高2
優秀賞	宇野 誉	公文国際学園高等部	高1	優秀賞	戸川 太郎	灘高等学校	高2
優秀賞	長尾 絢	桜蔭高等学校	高1	優秀賞	福山 月	久留米大学附設高等学校	高1
優秀賞	石堀 朝陽	筑波大学附属駒場高等学校	高3	優秀賞	高山 紘任	北海道札幌北高等学校	高2
優秀賞	古屋 楽	筑波大学附属駒場高等学校	高1	優秀賞	北村 隆之介	東京都立武蔵高等学校	高1
優秀賞	妻鹿 洗佑	筑波大学附属駒場中学校	中3	優秀賞	田中 夏輝	長崎県立諫早高等学校	高2

(以上24名。同賞内の配列は受験番号順、学年は2022年3月現在。)



川井杯・金賞の沖さん



銀賞の三宮さん、新井さん



左から銅賞の小出さん、北山さん、天谷さん

▶▶ 第20回日本ジュニア数学オリンピック (JJMO) 開催

第20回日本ジュニア数学オリンピック (Japan Junior Mathematical Olympiad) の募集期間は、JMOと同じく2021年9月1日から10月31日までで、応募者は2,550名であった。予選は、オンラインでの実施となり1月10日(成人の日)に2,437名が参加して行われ、141名が予選合格者となった。

このうち、134名が2月11日(建国記念の日)の全国10ヶ所の試験会場での本選に臨み、下記の11名が成績優秀者として3月19日(土)の代表選考合宿初日の開校式に表彰された。

なお、JJMO本選の成績優秀者のうち、上位5名がJMOで選抜された23名とともに2022年の国際数学オリンピック (IMO) ノルウェー大会の日本代表選手候補選抜のための「代表選考合宿」に招待された。



金賞の飯島さん

第20回日本ジュニア数学オリンピック (JJMO) 受賞者

賞	氏名	所属校	学年	賞	氏名	所属校	学年
金賞	飯島隆介	開成中学校	中3	銅賞	中洋貴	灘中学校	中3
銀賞	岩井翔太	須賀川市立第二中学校	中3	銅賞	伊藤成希	開成中学校	中1
銀賞	若杉直音	帝塚山学院泉ヶ丘中学校	中2	銅賞	佐野友哉	洛南高等学校附属中学校	中3
銀賞	小矢野翔太	灘中学校	中1	銅賞	橋口和史	灘中学校	中2
銀賞	佐々木俊介	東京都市大学附属中学校	中2	銅賞	松田麗音	灘中学校	中3
銅賞	金井一真	筑波大学附属駒場中学校	中3	(以上11名。同賞内の配列は受験番号順、学年は2022年3月現在。)			

▶▶ アジア太平洋数学オリンピック (APMO) 第18回国内大会

APMOは、太平洋を囲む国々が参加している数学のコンテストで、今年は第34回目にあたる。試験は、参加各国それぞれを会場として行い、北アメリカ及び南アメリカの国々は、3月第2月曜日の午後に、西太平洋及びアジアの国々は3月第2火曜日の午前実施することになっている。各国は、試験の結果を上位10位まで順位をつけて主催国に報告するとともに、1, 3, 7位の答案のコピーを添付し成績を決定している。今年の主催国はインドネシアである。

今年のAPMO第18回国内大会は、3月15日(火)に東京、大阪の2会場で行われた。その結果、10名のAPMO日本代表選手が選抜された。

第34回APMO日本代表選手

順位	氏名	所属校	学年	順位	氏名	所属校	学年
1	沖 祐也	灘高等学校	高2	6	戸川 太郎	灘高等学校	高2
2	三宮 拓実	福岡県立福岡高等学校	高2	7	田中 夏輝	長崎県立諫早高等学校	高2
3	井本 匡	麻布高等学校	高2	8	片伯部 了	東大寺学園高等学校	高1
4	鴫田 結	宮城県仙台第二高等学校	高2	9	古橋 史崇	開成高等学校	高1
5	天谷 健人	筑波大学附属駒場高等学校	高2	10	新井 秀斗	海城高等学校	高2

(学年は2022年3月現在。)

▶▶ 第63回IMOノルウェー大会日本代表選手

今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により例年と予定を変更して、3月20日(日)～24日(木)の5日間で都内ホテルにおいて「代表選考合宿」を実施した。合宿中に行われたコンテストの結果により、第63回IMOノルウェー大会(本年7月開催予定)日本代表選手候補6名を選出し、4月2日(土)のJCIMOにおいて日本代表選手が下記の通り決定された。

氏名	所属校	学年	氏名	所属校	学年
新井 秀斗	海城高等学校	高3	北山 勇次	札幌市立札幌開成中等教育学校	6年
井本 匡	麻布高等学校	高3	沖 祐也	灘高等学校	高3
北村 隆之介	東京都立武蔵高等学校	高2	三宮 拓実	福岡県立福岡高等学校	高3

(学年は2022年4月現在、アルファベット順。)

▶▶ 第11回EGMOハンガリー大会日本代表選手

昨年11月21日(日)のEGMO一次選抜試験、及び、今年1月10日(成人の日)のJMO予選の成績により、第11回EGMO(EGMO2022)ハンガリー大会の日本代表選手が下記の通り決定された。

氏名	所属校	学年	氏名	所属校	学年
熊本 糸杏	桜蔭高等学校	高3	大野 栞	筑波大学附属高等学校	高3
長尾 絢	桜蔭高等学校	高2	安田 百合香	神戸女学院高等学部	高3

(学年は2022年4月現在、アルファベット順。)

▶▶ 代表選考合宿と日本数学オリンピック(JMO)表彰

日本数学オリンピック(JMO)、及び、日本ジュニア数学オリンピック(JJMO)では、成績優秀者の表彰制度があります。JMOでは、財団で定めた地区割りによって、各地区での応募者の約1割の成績上位者を地区表彰者として表彰しています。

また、JJMOでも、予選合格者をJMOと同様に財団で定めた地区割りによって、各地区での応募者の約1割の成績上位者を地区表彰者として表彰しています。

さらに、JMOでは、本選合格者において、最優秀者には川井杯と金賞を授与し、以下、銀賞、銅賞、優秀賞として、楯やメダルを授与し表彰しています。JJMOにおいても、本選合格者に金賞、銀賞、銅賞としてメダルを授与し表彰しています。

第32回JMOの表彰式は予定していた会場が新型コロナウイルス感染症拡大のため使用できないことになり、中止致しました。そのため、3月19日(土)代表選考合宿の初日の開校式に合わせて表彰式を実施しました。



川井杯



代表選考合宿



代表選考合宿集合写真

▶▶ 第32回日本数学オリンピック本選受験有資格者一覧

氏名	学年	所属校
牧野 嵩平	中3	啓明中学校
北山 勇次	高2	札幌開成中等教育学校
岩下 幸生	高1	札幌開成中等教育学校
藤原 知矢	高2	北嶺高等学校
木村 尚暉	高2	北嶺高等学校
佐藤 諒一	高1	北嶺高等学校
水野 雄太	高1	北嶺高等学校
高山 紘任	高2	札幌北高等学校
平野 嵩人	高2	旭川東高等学校
伊藤 權	高2	函館中部高等学校
大山 晃誠	高1	盛岡中央高等学校
田中 太郎	高2	盛岡第一高等学校
田嶋 田結	高2	仙台第二高等学校
山田 汰侍	高2	仙台高等専門学校
岩田 涼雅	高2	仙台二華高等学校
宇野 譽	高1	公文国際学園高等部
伴内 優太郎	高1	開成高等学校
石川 貴士	高1	筑波大学附属駒場高等学校
井渕 大雅	高2	千葉高等学校
乗高 健人	高2	筑波大学附属高等学校
柏木 巧記	高1	筑波大学附属駒場高等学校
小笠原 悠人	高1	開智高等学校
林 康生	高1	海城高等学校
西山 太二	高2	開智未来高等学校
平林 雄輝	高3	海城高等学校
大野 菜	高2	筑波大学附属高等学校
松岡 龍之介	高2	東京大学教育学部附属中等教育学校
日野 正輝	高2	筑波大学附属駒場高等学校
大平 碧音	高1	筑波大学附属駒場高等学校
樋口 峻大	中2	筑波大学附属駒場中学校
竹内 絃	高3	筑波大学附属駒場高等学校
天谷 健人	高2	筑波大学附属駒場高等学校
長尾 絢	高1	桜蔭高等学校
阿部 将之	高2	暁星高等学校
瀧田 優成	高1	開成高等学校
保木 拓真	高2	筑波大学附属駒場高等学校
山口 莉奈	高2	桜蔭高等学校
菊池 朝陽	高2	筑波大学附属駒場高等学校
池田 淳一郎	高2	筑波大学附属駒場高等学校
井口 里紗	中3	早稲田実業学校中等部
吉沢 健佑	高1	開成高等学校
熊本 糸杏	高2	桜蔭高等学校
大庭 嵩弘	中3	筑波大学附属駒場中学校
河南 圭吾	高1	開成高等学校
横山 煌一郎	高2	城北高等学校
武本 昇大	高1	麻布高等学校
田代 拓生	中3	都立桜修館中等教育学校
新井 秀斗	高2	海城高等学校
伊勢田 理貴	高1	筑波大学附属駒場高等学校
田中 優弥	高2	麻布高等学校
木村 謙次郎	中2	筑波大学附属駒場中学校
鶴野 正史	高2	筑波大学附属駒場高等学校
山中 大誠	高2	筑波大学附属駒場高等学校
長谷川 太一	高1	筑波大学附属駒場高等学校
星名 啓人	高2	渋谷教育学園渋谷高等学校
小原 悠太郎	高2	筑波大学附属駒場高等学校
石堀 朝陽	高3	筑波大学附属駒場高等学校
山本 誠太	高2	攻玉社高等学校
東川 レオン	高1	筑波大学附属駒場高等学校
前田 快	高3	N高等学校(通信制)
中村 真之助	中3	栄光学園中学校

氏名	学年	所属校
青野 優志	高1	筑波大学附属駒場高等学校
古屋 楽	高1	筑波大学附属駒場高等学校
加藤 麟	高2	筑波大学附属駒場高等学校
妻鹿 洸佑	中3	筑波大学附属駒場中学校
多田 諒典	高1	筑波大学附属駒場高等学校
秋田 優斗	高2	浅野高等学校
井本 匡	高2	麻布高等学校
長沼 直秀	高2	慶應義塾湘南藤沢高等部
安藤 翔太郎	高2	筑波大学附属駒場高等学校
井野 壽海	高2	公文国際学園高等部
三浦 航汰	高2	横浜サイエンスフロンティア高等学校
柏井 史哉	高2	四ツ葉学園中等教育学校
小山 幸輝	高1	市川(学園)高等学校
陳 元良	高2	渋谷教育学園幕張高等学校
渡邊 雄斗	高2	渋谷教育学園幕張高等学校
趙 雨軒	高1	渋谷教育学園幕張高等学校
杉本 隼斗	高1	渋谷教育学園幕張高等学校
栗本 涼佑	高1	渋谷教育学園幕張高等学校
藤田 啓人	高1	渋谷教育学園幕張高等学校
吉仲 優樹	高1	渋谷教育学園幕張高等学校
井上 銀河	高1	栄東高等学校
石田 瑛誉	高1	小石川中等教育学校
松本 凜太郎	高2	小石川中等教育学校
作田 悠太郎	高2	駒場東邦高等学校
橋本 太郎	高2	駒場東邦高等学校
接 雄大	高2	駒場東邦高等学校
戸高 倫太郎	高2	駒場東邦高等学校
松田 流河	中3	早稲田中学校
山田 大貴	高1	早稲田高等学校
早川 彰	高2	早稲田高等学校
永田 淳一郎	高2	早稲田高等学校
藤谷 恒輝	高2	早稲田高等学校
小坂 響	高3	早稲田実業学校高等部
加藤 潤成	高2	渋谷教育学園渋谷高等学校
角谷 賢斗	中2	開成中学校
高橋 洋翔	中2	開成中学校
長谷川 彰一	高1	開成高等学校
岡本 慧	高1	開成高等学校
須藤 颯斗	高1	開成高等学校
古橋 史崇	高1	開成高等学校
田口 智章	高2	開成高等学校
大平 光太	高2	開成高等学校
藤浪 清大	高2	開成高等学校
松井 勇樹	高2	逗子開成高等学校
金 是佑	中3	栄光学園中学校
武田 恭平	高1	栄光学園高等学校
松下 恵大	高2	栄光学園高等学校
永田 唯一	高2	栄光学園高等学校
喜多 翔大	高1	聖光学院高等学校
金田 正和	高2	横浜サイエンスフロンティア高等学校
田 隅燈	高2	水戸第一高等学校
船見 綾人	高1	所沢北高等学校
大倉 晴琉	高2	大宮高等学校
久代 直人	高2	大宮高等学校
相浦 大樹	高2	大宮高等学校
井原 寛人	高1	東京学芸大学附属高等学校
北村 隆之介	高1	武蔵(都立)高等学校
須藤 瑞生	高1	桐朋高等学校
大森 寛玖	高2	穎明館高等学校
石峯 拓海	高2	武蔵高等学校
多部田 啓	高1	日比谷高等学校

氏名	学年	所属校
是川楓季	高2	東京工業大学附属科学技術高等学校
原田寛大	高2	立川高等学校
佐藤匠	高2	横浜翠嵐高等学校
神井助	高2	湘南高等学校
今井步夢	高2	新潟高等学校
狩野慧志	中2	筑摩野中学校
東谷匡汰	高2	松本秀峰中等教育学校
萩元三知朗	高2	松本秀峰中等教育学校
高島勇樹	高2	片山学園高等学校
升優太	高2	金沢大学附属高等学校
岡本健太郎	高1	金沢大学附属高等学校
増田紘也	高2	星陵高等学校
加藤陽太	高2	浜松北高等学校
鳥畑與志斗	高2	静岡高等学校
山内英資	高2	静岡高等学校
竹内陽喜	高1	静岡高等学校
竹山陽斗	高1	清水東高等学校
窪田恵也	高2	名古屋高等学校
鈴木優樹	高2	滝高等学校
齊藤樹	中2	滝中学校
原泰成	高2	滝高等学校
石黒翔大	高2	東海高等学校
三宅智史	高2	東海高等学校
酒井悠真	高1	東海高等学校
鈴木世成	高1	海陽中等教育学校
小原亮太	高2	海陽中等教育学校
倉田佳奈	高2	高田高等学校
松野詠亮	高2	高田高等学校
蜂矢倫久	高2	灘高等学校
沖祐也	高2	灘高等学校
永井駿匡	高2	刈谷高等学校
川北晴佳	高1	洛南高等学校
福田晃太郎	高2	灘高等学校
中尾碧希	中3	洛南高等学校附属中学校
遠山雪乃	高2	洛南高等学校
幡歩優佑	高1	東大寺学園高等学校
安藤豪之助	高2	大阪桐蔭高等学校
杉山開陸	高2	千里高等学校
大崎一慶	高2	北野高等学校
秋山幹太	高2	東山高等学校
片伯部了	高1	東大寺学園高等学校
宮崎恵輔	高1	甲陽学院高等学校
孟那日遜	高2	灘高等学校
安田百合香	高2	神戸女学院高等学部
川添康暉	高1	灘高等学校
深澤憩生	高1	高槻高等学校
伊藤寿将	高2	洛南高等学校
一橋涼真	高1	洛南高等学校
吉藤真成	高1	洛北高等学校
小川颯大	高2	洛南高等学校
辰野龍高	高1	大阪星光学院高等学校
山口裕輝	高2	大阪星光学院高等学校
龍舜一	高2	清風南海高等学校
中田義一人	高2	高槻高等学校
北山彰人	高1	白芝富田林高等学校
立宅優来	高1	白陵高等学校
安齋一畝	中2	灘中学校
尼丁祥伍	中3	灘中学校
永野裕太郎	中3	灘中学校
越智惺彩	高1	灘高等学校
小出慶介	高1	灘高等学校
小児玉大樹	高1	灘高等学校
白井悠晴	高1	灘高等学校
田中優希	高1	灘高等学校

氏名	学年	所属校
岡田怜	高1	灘高等学校
越智晴彩	高1	灘高等学校
平岡亮介	高1	灘高等学校
毛利天翔	高1	灘高等学校
平智祥	高2	灘高等学校
濱浦功行	高2	灘高等学校
増田拓真	高2	灘高等学校
三田村大凱	高2	灘高等学校
吉田慎二郎	高2	灘高等学校
飯沢海	高2	灘高等学校
斉藤由延	高2	灘高等学校
芝本将豊	高2	灘高等学校
田代新之助	高2	灘高等学校
戸川太郎	高2	灘高等学校
橋本典磨	高2	灘高等学校
細川隆之介	高2	灘高等学校
水貝嘉人	高2	灘高等学校
高橋遼	高2	智辯学園和歌山高等学校
村木智直	高2	膳所高等学校
設楽創平	高2	洛星高等学校
中川武蔵	高2	京都市立堀川高等学校
小石貫太	高2	京都市立堀川高等学校
山本樹	高2	四條畷高等学校
坂本健太	高1	三国丘高等学校
佐伯凌央	高2	神戸高等学校
岡田俊祐	高1	奈良高等学校
荒木大和	高1	松江北高等学校
平吉林功大朗	高2	広島大学附属福山高校
吉田陽揮	高2	灘高等学校
稲垣黎	高1	岡山白陵高等学校
濱本祐輔	中1	灘中学校
田端浩朗	高2	岡山朝日高等学校
友成栄斗	高2	広島学院高等学校
佐藤元樹	高2	広島国泰寺高等学校
棟近祐希	高2	徳山工業高等専門学校
飯田陽登	高1	灘高等学校
角本健太郎	高2	AICJ高等学校
金子明弘	中3	土佐中学校
門田大和	高1	土佐高等学校
秋山佑人	高2	久留米大学附設高等学校
糸永泰樹	高3	諫早高等学校
八谷知拓	中3	久留米大学附設中学校
徳永沙羅	高1	久留米大学附設高等学校
福山月	高1	久留米大学附設高等学校
堺智弘	高1	久留米大学附設高等学校
津田康介	高1	久留米大学附設高等学校
山之内望花	高1	久留米大学附設高等学校
有吉遼太郎	高2	久留米大学附設高等学校
稲葉陽孔	高2	久留米大学附設高等学校
福井海翔	高1	下関西高等学校
木本裕一朗	高2	筑紫丘高等学校
三宮拓実	高2	福岡高等学校
和才颯	高2	修猷館高等学校
東島啓太	高2	佐賀西高等学校
金子拓馬	高2	諫早高等学校
田中夏輝	高2	諫早高等学校
本田海渡	高2	大分上野丘高等学校
嶋伸悟	高2	ラ・サール高等学校
下之園文貴	高2	ラ・サール高等学校
上地明徳	高1	球陽高等学校

(以上247名 学年は2022年3月時点)

第20回日本ジュニア数学オリンピック本選受験有資格者一覧

氏名	学年	所属校
都筑 暖和	中2	札幌聖心女子学院中学校
稲川 貴一	中3	北嶺中学校
岩井 翔太	中3	第二中学校
大越 佑哉	中3	ふたば未来学園中学校
藤井 佑成	中2	県立千葉中学校
安井 貴生	中2	麻布中学校
多田 怜生	中3	渋谷教育学園幕張高等学校附属中学校
古川 美乃里	中3	桜蔭中学校
崔 靖鎬	中3	川島町立西中学校
福地 斗翔	中3	開成中学校
小岩 井大	中2	筑波大学附属駒場中学校
前尾 大咲	中3	筑波大学附属駒場中学校
上尾 慧	中2	筑波大学附属駒場中学校
早乙女 漱太	中3	開成中学校
小乙 嶋一朗	中1	筑波大学附属駒場中学校
小中 智生	中2	筑波大学附属駒場中学校
上田 大久真	中3	開成中学校
花井 太	中2	筑波大学附属駒場中学校
中野 竜	中1	筑波大学附属駒場中学校
尾野 亮	中2	武蔵中学校
井戸 憲悠	中2	筑波大学附属駒場中学校
谷中 遥彦	中2	筑波大学附属駒場中学校
大西 公貴	中2	開成中学校
鹿島 礼次	中2	麻布中学校
鈴雄 智	中1	筑波大学附属駒場中学校
中山 地広	中2	筑波大学附属駒場中学校
植松 佑成	中3	筑波大学附属駒場中学校
熊谷 連	中3	渋谷教育学園幕張高等学校附属中学校
仲野 明	中2	桜蔭中学校
三好 輝	中3	筑波大学附属駒場中学校
沈子 緒	中1	筑波大学附属駒場中学校
眞岡 光基	中2	筑波大学附属駒場中学校
村越 拓	中2	巣鴨中学校
鈴木 真悠	中1	桜蔭中学校
藤木 悠貴	中2	栄光学園中学校
茨木 志	中3	開成中学校
金井 真	中3	筑波大学附属駒場中学校
小椋 山まり	中3	桜蔭中学校
寛 敬	中1	筑波大学附属駒場中学校
新川 龍太郎	中2	栄光学園中学校
早川 尊俊	中3	並木中等教育学校
溝川 悠斗	中2	栄東中学校
山 貴	中3	本郷中学校
亀 佑	中3	小石川中等教育学校
秋野 智	中3	小石川中等教育学校
星 雄	中3	駒場東邦中学校
佐藤 快生	中2	早稲田中学校
吉岡 恵	中3	渋谷教育学園渋谷中学校
齋藤 祐多	中3	渋谷教育学園渋谷中学校
齋藤 麻衣	中3	豊島岡女子学園中学校
伊藤 成	中1	開成中学校
馬場 温	中1	開成中学校
柴田 千	中2	開成中学校
松浦 諒	中2	開成中学校
大槻 浩	中2	開成中学校
小西 魁一	中3	開成中学校
飯島 隆	中3	開成中学校
高橋 健人	中2	逗子開成中学校
野下 晃	中1	栄光学園中学校
濱本 将太郎	中2	栄光学園中学校
山本 侑悟	中3	栄光学園中学校
伊藤 魁人	中3	栄光学園中学校
三池 宏	中2	聖光学院中学校
田直	中3	神奈川県立相模原中等教育学校
藤田 直	中3	横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校
佐々木 俊	中2	東京都立大学附属中学校
安井 寛	中1	慶應義塾普通部
高木 音	中3	慶應義塾普通部
香本 祥	中2	東海中学校
山本 明	中3	東海中学校

氏名	学年	所属校
村瀬 公規	中2	東海中学校
平澤 邦太	中3	東海中学校
長谷川 寿一	中3	海陽中等教育学校
佐野 友哉	中3	洛南高等学校附属中学校
足立 英真	中2	灘中学校
鍋島 智輝	中2	洛南高等学校附属中学校
岩井 智洋	中2	西大和学園中学校
中野 貴	中3	灘中学校
若杉 直音	中2	帝塚山学院泉ヶ丘中学校
丸谷 凌	中3	東大寺学園中学校
阿部 凌	中1	東大寺学園中学校
堀部 紗己	中3	神戸女学院中学部
西田 庵	中2	灘中学校
川崎 董	中3	洛南高等学校附属中学校
藤澤 俊介	中2	府立洛北高等学校附属中学校
宮山 健人	中3	府立洛北高等学校附属中学校
前田 祐希	中3	洛南高等学校附属中学校
西田 亮	中2	大阪星光学院中学校
植木 駿	中3	大阪星光学院中学校
松田 悠	中3	大阪星光学院中学校
中井 依	中3	清風南海中学校
飯田 琉依	中2	白陵中学校
水野 高	中3	白陵中学校
田野 斗	中3	白陵中学校
小矢野 翔	中1	灘中学校
波多野 權	中1	灘中学校
東彦 宏	中1	灘中学校
加持 太	中1	灘中学校
石村 友一郎	中2	灘中学校
丸岡 亮	中2	灘中学校
朝来 龍介	中2	灘中学校
伊丹 翔	中2	灘中学校
梅本 一	中2	灘中学校
加藤 藤	中2	灘中学校
松井 葵	中2	灘中学校
太田 紀	中2	灘中学校
檜尾 久	中2	灘中学校
池田 律	中2	灘中学校
竹内 圭	中3	灘中学校
松内 悠	中3	灘中学校
宮崎 麗	中3	灘中学校
上野 優	中2	灘中学校
宮原 優	中3	灘中学校
香月 慈	中3	灘中学校
宮原 陽	中3	灘中学校
田中 陽	中3	灘中学校
谷光 快	中3	灘中学校
宮原 尚	中3	灘中学校
菊地 俊	中3	灘中学校
津和 伊	中2	灘中学校
橋口 智	中2	灘中学校
大下 隆	中3	灘中学校
松田 史	中3	灘中学校
松田 夏	中3	灘中学校
村内 実	中3	灘中学校
村松 智快	中1	灘中学校
竹之内 榮	中3	灘中学校
黒木 瑛	中2	灘中学校
西田 憲	中3	灘中学校
尾田 健	中2	灘中学校
下平 優	中2	灘中学校
前原 優	中2	灘中学校
森園 月	中2	灘中学校
嶋悠 太	中2	灘中学校
下白 翔	中2	灘中学校
寺崎 太	中2	灘中学校
江藤 壮	中3	灘中学校
濱川 慎	中1	灘中学校
河野 次	中3	灘中学校

(以上141名 学年は2022年3月時点)

▶▶ 第11回EGMOハンガリー大会

- 1 開催地/会期 ハンガリー(エゲル)
＜開会式4月7日、コンテスト4月8、9日
閉会式4月11日＞
- 2 参加国数/人数 56ヶ国・地域(57チーム)/222名
- 3 日本選手の成績

金メダル	長尾 絢	桜蔭高等学校	高2
銅メダル	安田 百合香	神戸女学院高等学部	高3
優秀賞	熊本 糸杏	桜蔭高等学校	高3
	大野 葉	筑波大学附属高等学校	高3

- 4 国別順位 **日本：21位**
(1 アメリカ 2 ペルー 3 オーストラリア)

EGMOハンガリー大会 日本選手の声

各選手に、EGMOハンガリー大会の感想を書いてもらいました。

- ①日本代表に決まったときの気持ち・決意
- ②EGMOまでの勉強方法や努力したこと
- ③コンテストについて
- ④コンテスト会場ならびに宿泊施設の感想
- ⑤今回のEGMO全体の感想
- ⑥今まで、応援してくれた方々やこれからEGMOを目指す人へのメッセージ

長尾 絢 選手

①去年が銅メダルだったこともあり、今年は金メダルを取りたいと思っていたので代表に決まって安心した。
②過去問を中心に自分の力を伸ばすべくたくさん問題を解いた。自分に適当な難易度の問題を解くようにした。
③Day 1は、1Gは10分くらいで解けたが、2は初め分野がよくわからず結局Nっぽい議論をして解けた。3Nは20分くらいで解法が分かり3番級にしては結構簡単だと感じた。結果的に時間は余ったので見直しを何度もしたにもかかわらず2番で十分性の確認を忘れていたことに気づけなかった。

Day 2は、4Aがシンプルすぎて誤読していないか不安になった。5Cは解法自体は40分くらいで分かったが答案を丁寧に書いていたら時間を食ってしまった。6Gは正確な図を描くのも難しそうだったので計算で解こうとしたが計算しきれなかった。

④昨年と同じホテルだった。直前の強化合宿、春合宿でも宿泊させていただいたので慣れもあり快適に過ごせた。

⑤完弱だったので金メダルが取れるだろうと思っていたが、スコアボードが確定するまでは怖かった。結果的に35点で世界5位という満足いく成績で金メダルを獲れて嬉しかった。コンテスト以外では1日目の夜はチューターの方々も交えてカードゲームができ楽しかった。国内の予選や本選などと違い、国内からの参加とはいえ国際大会のプレッシャーは昨年に引き続きとても大きかった。夜はほとんど眠れずDay 2の前はかなり体調が悪かったが無事に乗

り切れてよかった。

⑥ハンガリーに行くことはできませんでしたが、コロナ禍でも参加させてくださった財団の方々、コーディネーションをしてくださったチューターの方々、応援してくださった方々に心から感謝しています。ありがとうございました。



開会式にて(日本代表団紹介)

熊本 糸杏 選手

①「え、なんで私が!？」と信じられないくらい驚きました。その後、少しずつ嬉しさがこみ上げてきました。

②添削問題に取り組んだり、過去問に目を通しました。

代表決定から本番までの期間が短く、数オりの問題も解いたことがなかったので、もっと早めに準備ができていればと思います。

③1次選抜の問題とのレベルの差に困惑しました。私には実力も経験も無かったので、0点になる可能性も大きくコンテスト中はあまり寝られませんでした。

でも、チューターさんの「とりあえず分かることは何でも書いて下さい」というアドバイスを思い出し、本番は集中できて、予想以上の点数を取ることができ、個人的には満足しています。

④ホテル周辺的环境、治安がよいとは言えず、コンテスト本番中も外の音が少し気になりました。食事もおいしかったです。本番中の軽食のリクエストを聞いて下さりお心遣いが嬉しかったです。本番の机が広々としていて使いやすかったです。

⑤チューターの方や他の代表3名がとても優しく、とても和やかな雰囲気だったので、思ったよりも緊張せずに大会を終えることができました。また、開会式をみんなで見ることで現地の雰囲気を感じることができました。今までやったことのないルールが難しいカードゲームをしたのが楽しい思い出になりました。

⑥たくさんご指導して下さい、たくさん部分点を私の汚い答案から見出して下さったチューターさん、一緒に頑張った3人の仲間たち、見守って下さった田崎さん、財団の方々、本当にありがとうございました。もっと多くの日本の女子学生に、EGMOの存在を知ってもらい、受験者を増やし、レベルのより高い大きな大会になることを願っています。

安田 百合香 選手

①昨年のジョージア大会でも代表に選んでいただけていたので、今年も代表にならなければと思っており、決まったときはただただ安心しました。

②昨年過去問は見終えていましたが、再び見返したり、財団からいただいた問題冊子を見たりしました。

③昨年の経験から、些細なこと（少なくともこちらは些細だと思っていたこと）でも部分点が入ることがあると分かっていたので、できるだけ沢山書いて点数をとりたと思っていました。

Day 1：1のGは個人的には嬉しかったのですが、少し考えてすぐには解けなかったので他の問題との往復を繰り返していました。そのうちに時間がなくなってきたので、流石に1は解きたいと焦り、図を丁寧に書き直してangle-chaseをすると解けたので良かったです。正直、2と3にもっと時間を使って部分点をとりたかったのですが、Day 1で解けた問題があったことはDay 2に臨むにあたってかなり気持ちを楽しませてくれました。

Day 2：4が案外早くに解けてしまい、本当に合っているのだろうかと不安になってしまいました。5は実験をすることで解を予想できるかと思いましたが、あまり分からず、とりあえず部分点をとろうと分かっていることだけを示しました。結果的に4点入っていたので、沢山書いて良かったです。6は全ての情報を一つの図に載せようとする就非常に煩雑な図になってしまい、全然手が動かなかったので、大きく図を書いて分かっていることを書いていくことで1点でも部分点をいただけたら嬉しいなと思っていました。あと2点とれていれば違う色のメダルをいただけていたので、もっと上手く時間を使って答案を書けていれば良かったのかもしれませんが、これが実力だと思います。

④昨年と同じ会場で、強化合宿とも同じホテルだったので、不安要素はなく、試験を受ける環境としては十分なものでした。

⑤2年連続でEGMOに出ることができたことを、大変有り難く思います。2年とも日本は府中のホテルからの参加となり、現地で他国の選手と交流したり観光したりする機会が失われてしまったことは残念でなりませんし、以前から思い描き、参加を夢んでいたEGMOとは違うものになってしまいましたが、ホテルで他の日本代表選手や尊敬するチューターの方々と談笑したりゲームをしたりした時間はかけがえのない思い出となりました。本当にありがとうございました。財団の方々にも、諸連絡、通信添削、強化合宿、そして本番を通して大変お世話になりましたこと、感謝申し上げます。

⑥数オリとの関わり方は、人それぞれだと思いますが、自分が満足できる結果を出せるよう、後悔しないだけの精力を注げば良いと思います。EGMOにおいては、日本代表になるチャンスは誰にでもあると思うので、一年でも早く代表になれるように、より多くの国に行けるように、頑張ってください。

今回のEGMO参加にあたってご尽力いただいた財団の方々、チューターの方々、そして他の日本代表選手の皆さん、本当にありがとうございました。

大野 栞 選手

①去年もEGMO代表選考を受けたが代表には選ばれず、今年もあまり自信はなかったのですが、代表に決まったと知った時はとても驚いた。それと同時に、非常に貴重な機会を頂けたことに嬉しく思い、チャンスを無駄にしたくないという気持ちが湧いた。

②数学オリンピックの予選のような問題は得意なのだが、EGMO本番のような証明問題は慣れておらず、基礎がなっていない状態だった。そのため、主に強化合宿でいただいた講習プリントを読み込み、EGMOの1番・4番級の問題をじっくりこなすようにした。

③1日目は、1問目から調子が崩れてしまったこともあり、ほとんど点数をとれず悔しかった。2日目は、これといった不調はないものの、1問目(4番)では証明のもれがあったのか7点を取ることができず、実力不足を実感した。どれも面白く手応えのある問題だったので、あつという間の4時間半だった。

④会場は静かで広く、快適だった。宿泊施設も同じような雰囲気、ゆったり過ごすことができた。特に、試験に近い時間以外は、皆で集まれる場所が開放されていて、代表の皆やチューターさんと話したり、カードゲームをしたりできて楽しかった。

⑤思っていたより選手同士や財団の方々との距離が近く、交流ができたのが嬉しかった。また、事前申告で試験中に好きな食べ物を持ち込めるのも、ユニークだと感じた。ハンガリーに行けなかったのは残念だったが、有意義な時間を過ごせたと思う。

⑥数学オリンピック財団の方々やチューターの皆さんには、EGMO代表に選抜していただき、また、講義や資料、試験環境など、様々な面で支えていただきました。心より感謝申し上げます。



EGMO代表選手



EGMOの人文字

EGMO 大会役員の感想

団 長 藤田 岳彦

4/7～4/11で行われたヨーロッパ女子数学オリンピックハンガリーリモート大会に団長として参加した。

リモートなのでいつものようにホテルコンチネンタル府中で実施した。1日目は翻訳を向うに送り、それが認められた。4/8(金)15:30～20:00の時間で試験を実施した。これは向こうの時差を考慮してで、リアルで行われたハンガリーでは、現地時間8:30～13:00で行われた。1日目は一番の幾何が意外に難しく、日本の四選手全員ができたわけではなかった。また三番も難しかった。2日目は4/9(土)の同じ時間に行われた。四番は置き換えをすれば、かなり優しい問題で、実際、小さなミスを除けば、日本選手は全員できていた。対照的に六番の幾何が複雑な問題であったが、日本選手の3人は部分点を取った。その後、日曜日にコーディネーションをチューターとともに、Zoomを用いて行った。Zoomによるコーディネーションは初めてで最初は少し戸惑ったが、そのうち慣れてきてチューターたちの尽力もあり上手くいってほっとした。結果は金1、銅1、優秀賞1でメダルを取れなかった人がいたのは残念であったが、みんな良く頑張った。特に金の長尾さんは、全選手中5位の素晴らしい成績であった。選手たちにはこの貴重な経験をこれからの人生に活かしてもらおう願っている。

副団長 神田 秀峰

今年のEGMOもオンラインになった。IMOを含めるとオンラインでの国際大会に関わるのは3回目であり、府中のホテルには実家のような安心感がある。ただし今大会はオンラインと現地開催のハイブリッド型であり、多くの選手は現地に集まっていた。現地の選手が楽しそうに交流している速報画像を見ながらオンラインで参加するのは何とも言えぬ悔しさがあった。

試験はかなり上手くいったのではないかと。強化宿舎や通信添削によって事前に選手のレベルを把握していたが、皆僕の予想を遙かに上回る点数をとってきた。4番はかなりしょうもない問題だと思ったが、皆がしっかり解けているのを確認したとき本当に嬉しい気持ちになった。他の問題もなかなか難しかったと思うが、時間をいっぱい使って解答をたくさん書いてくれたため、多くの部分点を与えることができた。満足のいく結果を残せなかったと思っている選手は間違いなくいるだろうが、僕は皆のこの結果は誇るべきものと思った。

コーディネーションはZoomを使ってオンラインで行われたが、基本的にもめることはなくすんなりと終わった。完全にオブザーバーの高谷の英語力のおかげである。僕はもっと英語を頑張ります。

ホテルでの開催だったので選手達が交流する機会は少なかったが、それでも試験の合間にカードゲームなどで遊ぶことができた。心なしか団長や事務の方々のテンションも高く、全体として雰囲気が良かったと思う。オンライン参

加ではあったが選手達にとってとても楽しい大会になっただろうし、僕にとっても思い出に残るいいEGMOになった。

オブザーバー 高谷 悠太

今年の問題は解いていて楽しいものが多かった。

2番級の問題は選手の地力を測ることができ、コンテストの問題として適切であったと思う。

6番を解くには苦労したが、このように十分難しい問題も用意されており、一個人として楽しむことができた。採点ではMarking Schemeが丁寧に定められていたので、順調に点数を決めることができた。

正答から遠い答案に対しても積極的に部分点を与える方針であり、実際に日本選手も多く部分点を獲得した。

コーディネーションでは答案を英語で伝えるのに苦労したが、特に意見が衝突することもなく、平和であった。

無事に希望通りの点数を得ることができ、よい雰囲気でもコーディネーションを終えることができた。

空き時間や試験が終わった後には、選手たちとカードゲームや雑談をして交流することができた。

このような楽しい大会に関わることができたことを大変嬉しく思う。



頑張ろう！



EGMO代表団

第11回 EGMO 2022 ハンガリー大会 日本代表団の役員

- ◎団 長 藤田 岳彦 中央大学理工学部教授
- ◎副団長 神田 秀峰 東京大学大学院数理科学研究科
- ◎オブザーバー 高谷 悠太 東京大学大学院数理科学研究科

▶▶ 夏季セミナー参加者募集

数学オリンピック財団では、毎年8月下旬に夏季セミナーを実施しています。このセミナーは、毎年夏に数学好きの中高生を集めて行われる数学セミナーです。

◎夏季セミナーとは

受験問題や数学オリンピックの問題などの与えられた問題を解くのも楽しいですが、それだけでは数学の本当の奥深さ・魅力は見えきません。そこで、この「夏季セミナー」では、数学の専門書を読んで理解し、その内容を他人の前で発表することを通して数学の魅力を味わってもらっています。

数学オリンピック財団が主催しているものですが、チューターと呼ばれる数学オリンピックOB・OGの大学生が運営や指導を行っています。

セミナーで読んだ本を理解するのも1つの目的ですが、専門書の読み方・セミナーの仕方を身につけてもらい、それをさらに周りの数学仲間にも広めてもらうことも夏季セミナーの目的です。

2020年、2021年の2年間は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止しておりましたが、今年は3年ぶりの開催予定で準備を進めています。

夏季セミナーは7日間を予定していますが、ほとんどずっとセミナーかセミナーの準備をする生活を送ることになるでしょう。少し大変かもしれませんが、とても充実した一週間になるはずですよ。

なお、今年どのような本を使用するかは未定ですが、例年、8～9冊を用意し、そのうちの数冊が洋書です。参考として、2019年のセミナーで使用した本をあげておきます。



2019年夏季セミナー

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 群論への30講 | 志賀 浩二 |
| 2. 幾何の魔術 | 佐藤 肇、一樂 重雄 |
| 3. ガロア理論講義 | 足立 恒雄 |
| 4. A course in Arithmetic | Jean-Pierre Serre |
| 5. 石取りゲームの数学 | 佐藤 文広 |
| 6. ルベーク積分30講 | 志賀 浩二 |

◎日程・場所

日程：8月21日(日)～27日(土) 場所：山梨県 清里

※原則、途中参加及び部分参加は認めません。

◎参加資格

代表選考合宿に参加した者を優先するなどの財団が定めた参加資格がありますが、それ以外に一般公募を行っています。一般公募の応募資格は、高校生以下であり数学を学ぶこと、他の参加者との交流に意欲のある方を対象としています。

◎応募方法

レポートを提出してもらいます。詳細につきましては数学オリンピック財団のホームページをご覧ください。

数学オリンピックに興味・関心のある意欲的な方の参加をお待ちしています。



第64回 国際数学オリンピック (IMO2023) 2023年 7月 日本大会開催 !!

国際数学オリンピック (The International Mathematical Olympiad : IMO) は、世界各国の高校生以下の若者の数学の才能を伸ばし励ますこと、そして、若者同士や教育関係者たちの国際交流を深めることを目的に行われる数学の一大イベントです。1956年に第1回大会がルーマニアで開催され、日本は、1990年の第31回中国大会から参加しています。

2003年には、日本が主催国となり東京を会場として開催されましたが、2023年に再度日本で開催されることになりました。2023年のIMO大会は、千葉市を会場として開催する予定です。皆様には、ぜひ数学オリンピック財団のスポンサーとなって、日本大会成功のために応援していただけますよう、心からお願い申し上げます。



IMO 2023
Chiba, JAPAN 64th

IMO2023日本大会開催概要

- ・日程 2023年7月2日(日)～13日(木)
〈詳細〉 7日 開会式
8日～ 9日 コンテスト
10日～11日 観光・国際交流
12日 閉会式
- ・開催予定地 千葉県 (千葉市)
- ・参加予定国 110ヶ国・地域
- ・参加予定人員 選手 660名 (6名×110)
役員 220名 (2名×110)

★寄附金の払込方法

大会の趣旨にご賛同しご支援いただけます際は、寄附申込書を当財団事務局に送付の上、下記振込先にお振込みくださいますようお願い申し上げます。

なお、当財団は、税制上の優遇措置を受けられる税額控除対象法人となっています。

★寄附金申込先：

公益財団法人 数学オリンピック財団
〒160-0022 新宿区新宿7-26-37-2D
TEL：03-5272-9790 FAX：03-5272-9791

★振込先：

三菱UFJ銀行 神田駅前支店 (店番010)
<口座番号> (普通) 0299549
<口座名義> 公益財団法人 数学オリンピック財団



IMO2020イギリス大会(国際交流)

▶▶ 第33回日本数学オリンピック(JMO)開催予定

第64回国際数学オリンピック(IMO)日本大会(2023年7月)の日本代表選手候補を選抜する第33回JMOを行います。奮って応募してください。

詳しくは、募集要項または当財団ホームページをご覧ください。

試験日時：(予選) 2023年1月9日(月：成人の日) 午後1時～4時

(本選) 2023年2月11日(土：建国記念の日) 午後1時～5時

試験会場：全国主要都市(各県1ヶ所以上を予定。) 募集要項参照。

応募資格：2023年1月時点で、大学教育(またはそれに相当する教育)を受けていない20歳未満の者。

試験内容：前提とする知識は、世界各国の高校程度で、整数問題、幾何、組合せ、式変形等の問題が題材となります。(微積分、確率統計、行列は範囲外です。)

受験料：4,000円(納付された受験料は返還されません) 学校一括申込割引制度有

申込方法：当財団ホームページをご覧の上、郵便局の青色の振替用紙「払込取扱票」に必要事項を記入して、受験料を添えて申し込んで下さい。

▶▶ 第21回日本ジュニア数学オリンピック(JJMO)開催予定

第64回国際数学オリンピック(IMO)日本大会(2023年7月)の日本代表選手候補の選抜を、第33回JMOと合わせて実施します。奮って応募してください。

詳しくは、募集要項または当財団ホームページをご覧ください。

試験日時：(予選) 2023年1月9日(月：成人の日) 午後1時～4時

(本選) 2023年2月11日(土：建国記念の日) 午後1時～5時

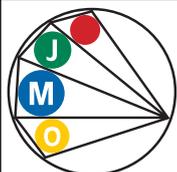
試験会場：全国主要都市(各県1ヶ所以上を予定。) 募集要項参照。

応募資格：2023年1月時点で、中学3年生以下の者。

試験内容：前提とする知識は、世界各国の中学校程度で、数の問題、図形の問題、ゲーム、組み合わせ的問題などです。学校で日常学習する内容と多少異なる問題も題材となります。

受験料：3,000円(納付された受験料は返還されません) 学校一括申込割引制度有

申込方法：当財団ホームページをご覧の上、郵便局の青色の振替用紙「払込取扱票」に必要事項を記入して、受験料を添えて申し込んでください。



数学オリンピック財団通信

No.63 2022年5月15日発行

■編集・発行
公益財団法人 数学オリンピック財団
〒160-0022
東京都新宿区新宿7-26-37-2D
TEL 03-5272-9790
FAX 03-5272-9791
URL <https://www.imojp.org/>